

AGRO CARE

技術資料

生物殺菌剤

農林水産省 登録第 22516 号

アグロケア[®] 水和剤



AGRO CARE

®は日本曹達(株)の登録商標

有効成分

バチルス ズブチリス HAI-0404 株の生芽胞… 5×10^9 cfu/g

AGROCARE

特 長

- 従来の微生物農薬と比べ

作物の汚れが、とても少ない！

- 無加温ハウスや高冷地でも使いやすい！

低温*でも、効果を發揮。

- 使用回数制限がなく、農薬の使用回数にカウントされません。

～減農薬栽培、無農薬栽培等のJAS認証制度に適しています。

- 収穫前日まで使用でき、果菜類の防除に好適！

- 常温煙霧でも十分な菌量が存在しているので効果は劣りません。

- 各種薬剤耐性菌に対しても効果的。

*10°C以上の環境でご使用ください。

茶葉から生まれた



生物殺菌剤

殺菌剤

アグロケア

農林水産省 登録第 22516 号

水和剤

荷姿：100g×50袋（有効4年）

安全性

- 〈ラットおよびウサギ〉経口、経皮、経気道、静脈の各投与試験において感染性・病原性・体内生残性、毒性は認められません。
- 〈水産動物および鳥類〉コイ、ミジンコ、ウズラに対して影響ありません。
- 〈土壤微生物〉真菌、細菌、放線菌に対して影響ありません。

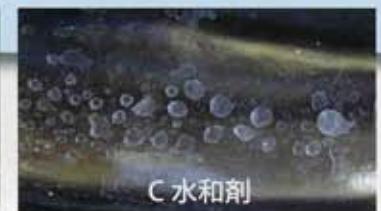
汚れ比較

アグロケアは作物によらず、ほとんど汚れが認められません。

ナス



アグロケア® 水和剤
汚れがとても少ない！



トマト



アグロケア® 水和剤
汚れがとても少ない！



ミニトマト



アグロケア® 水和剤
汚れがとても少ない！



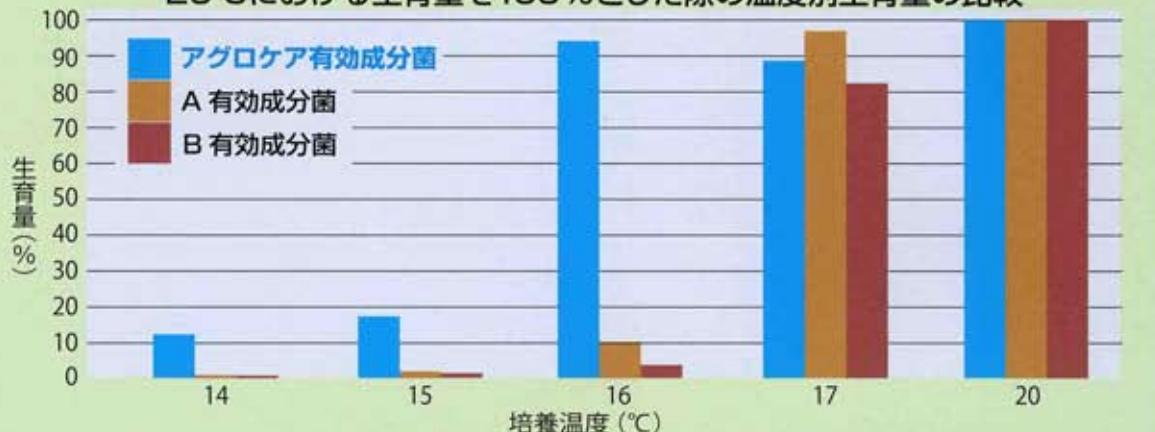
められず、影響ありません。

生物殺菌剤 アグロケア® 水和剤

低温における有効成分菌の生育量比較

日本曹達株式会社 棚原フィールドリサーチセンター

20°Cにおける生育量を100%とした際の温度別生育量の比較



各剤の有効成分菌を温度別に培養し、600nmにおける吸光度を測定することで生育量を比較した。
グラフは20°Cにおける生育量を100%として各温度での生育量を%表記した。

上手な使い方

- 定植前に予防散布を行い、病原菌を本園に持ち込まないようにしましょう。
- 予防散布により効果を発揮するので、発病前から発病初期に7~10日間隔で散布してください。
- 化学農薬との体系防除に取り入れ、計画的な散布を行いましょう。



天敵および有益昆虫に対する影響

- オンシツツヤコバチ、コレマンアブラバチ、スワルスキーカブリダニ、タイリクヒメハナカメムシ、チリカブリダニ、ヒメクサカゲロウ、ミヤコカブリダニ、セイヨウミツバチ、クロマルハナバチ、カイコ、土壤微生物(細菌、真菌、放線菌)に対して影響なし。

混用事例

平成29年3月現在

薬剤名	混用
アフェットフロアブル	○
アミスター20フロアブル	○
アリエッティ水和剤	○
イオウフロアブル	○
園芸ボルドー	○
オンリーワンフロアブル	○
ガッテン乳剤	○
カッバーシン水和剤	○
カリグリーン	○
カンタストライフロアブル	○
キノンドーフロアブル	○
ゲッター水和剤	○
コサイド3000	○
サンヨール	○
ジーフайн水和剤	○
ジャストミート顆粒水和剤	○
ストロビーフロアブル	○
スミブレンド水和剤	○
スミレックス水和剤	○
セイビアーフロアブル20	○
Zボルドー	○
トップシンM水和剤	○
トリフミン水和剤	○
バシタック水和剤75	○
バリダシン液剤5	○
パンチョTF顆粒水和剤	○
ピクシオDF	○
ファンタジスタ顆粒水和剤	○
ファンベル顆粒水和剤	○
フルビカフロアブル	○
プロバティフロアブル	○
フロンサイド水和剤	○
ベンレート水和剤	○
ホライズントライフロアブル	○
ポリオキシンAL水和剤	○
ポリベリン水和剤	○
マイコシールド	○
マスタビース水和剤	○
ムッシュボルドーDF	○
モレスタン水和剤	○
モンカットフロアブル40	○
ランマンフロアブル	○
ロブラール水和剤	○

薬剤名	混用
アグロスリン乳剤	○
アーデント水和剤	○
アドマイヤーフロアブル	○
アファーム乳剤	○
アルバリン顆粒水溶剤	○
エコビタ液剤	○
エコマスターBT	○
エスマルクDF	○
カスケード乳剤	○
コテツフロアブル	○
コルト顆粒水和剤	○
コロマイト乳剤	○
ゴツツA	○
サンヨール	○
ジャックボット顆粒水和剤	○
スタークル顆粒水溶剤	○
スターマイトフロアブル	○
スピノエース顆粒水和剤	○
スミチオン乳剤	○
ゼンターリ顆粒水和剤	○
ダニサラバフロアブル	○
ディアナSC	○
デルフィン顆粒水和剤	○
トルネードエースDF	○
粘着くん液剤	○
バシレックス水和剤	○
バダンSG水溶剤	○
バロックフロアブル	○
フェニックス顆粒水和剤	○
ブレオフロアブル	○
ブレバソンフロアブル5	○
ベネビアOD	○
ボタニガードES	○
マイコタール	○
マイトコーネフロアブル	○
モスピラン顆粒水溶剤	○

薬剤名	混用
エバホウソ	○
カルクロン	○
カルシウムエキス	○
ラメオ1号	○
鮮緑	○
バイカルティ	○
Presto	○
メリット赤	○
モイスチャー	○

薬剤名	混用
アプローチB I	○
クミアイクミテン	○
グラミンS	○
サントクテン80	○
スカッシュ	○
ダイコート	○
展着剤アグラー	○
ネオエステリン	○
ハイテンパワー	○
プラテン80	○
ブレイクスルー	○
まくびか	○
ミックスパワー	○
ラビデン3S	○
ワイドコート	○

<記号の説明> ○: 混用により、アグロケアの有効成分菌HAI-0404株の生育に影響がない薬剤。

<注意事項> 下記は混用によりアグロケアの効果が低下する可能性が高いため、混用を避けたほうがいいと思われる薬剤。(下記薬剤と同じ有効成分を含有する剤(単剤、混合剤)も同様です。)
オーソサイド水和剤80、カーゼートPZ水和剤、ジマンダイセン水和剤、ダコニール1000、
ペフラン液剤25、ペルクート水和剤、ペルクートフロアブル、アイヤーエース、ニーズ

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バチルスズブチリスを含む農薬の総使用回数
野菜類 (トマト、ミニトマト、ビーマン、ほうれんそう、食用ゆり、食用ぎく、きく(葉)、セルリー、なす、にら、パセリ、しそを除く)	灰色かび病、うどんこ病	1,000~2,000					
トマト	灰色かび病、うどんこ病 葉かび病						
ミニトマト	斑点病	2,000					
ビーマン	黒枯病						
ほうれんそう	灰色かび病、うどんこ病	1,000~2,000					
食用ゆり	白斑病	2,000					
パセリ しそ	灰色かび病、うどんこ病	1,000~2,000					
セルリー	斑点病	2,000					
なす	灰色かび病、うどんこ病	1,000~2,000					
にら	白斑葉枯病、うどんこ病	1,000~2,000					
しょうが	白星病						
食用ぎく きく(葉)	灰色かび病、うどんこ病	2,000					
きく	白さび病						
花き類・観葉植物 (ばら、きくを除く)	うどんこ病	1,000					
ばら							
かんきつ	灰色かび病	1,000~2,000					
なし	黒星病						
ブルーベリー	灰色かび病	2,000					
作物名	適用場所	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
野菜類	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	灰色かび病	1,000	100/10a	収穫前日まで	—	常温煙霧

使用上の注意事項

△効果・薬害などの注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 有効成分は生菌であるので、散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使いきってください。
- 他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意してください。
- 低温下では効果が出にくいので、10°C以上が確保できる条件で使用してください。
- 保護作用が強く予防効果が主体なので、使用する際は次の事項に注意してください。
 ①散布処理の場合には、次の事項に注意してください。
 a)発病前から発病初期に7~10日間隔で使用してください。
 b)生育の早い作物に使用する場合には散布頻度を高めるなどの工夫をしてください。
 ②常温煙霧処理する場合には、次の事項に注意してください。
 a)1か月あたり300l/10aの処理液量を目安になるべく連続使用してください。
 b)作業は密閉できる環境で行ってください。
 c)作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉してください。
- 敷布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調整してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場に放置せず、適切に処理してください。

△安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 敷布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体质の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさせてください。
- 夏期高温時の使用をさせてください。

保管等に対する注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

本資料は2017年10月現在の登録内容に基づいています。

販売元 株式会社ニッソーグリーン
〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2(秋葉原新高第一生命ビル5F)
☎03-5816-4351 <http://www.ns-green.com/>

製造元 日本曹達株式会社
〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1